

ラジオ 東日本大震災との 関係を問い直す

7月11日（土）
15:00－19:00
早稲田大学 早稲田キャンパス
26号館B1 多目的講義室
＊入場無料／途中入場歓迎

2011年3月11日、午後2時46分。
ライフラインが寸断され、不安と戦う避難者のそばには、ラジオがありました。
宮城県・南三陸町を舞台にした映画『ガレキとラジオ』の上映と、
震災発生直後から、福島県民、ひいては全世界のリスナーに対して
福島の現状を伝え続けている大和田 新さんの講演。
3.11から4年4か月となるこの日、いま一度ラジオの在り方を問い直します。

期日：7月11日（土）

会場：早稲田大学 早稲田キャンパス 26号館B1 多目的講義室
(<http://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>)



会場へのアクセス

～第1部～ 映画『ガレキとラジオ2014』上映会 15:00-17:00

監督：梅村太郎 企画・製作：博報堂／博報堂プロダクツ（2014年、81分／<http://www.311movie.com/>）

～第2部～ 講演「伝える事の大切さ、伝わる事の素晴らしさ」17:00-19:00
大和田 新氏（フリーアナウンサー）

○大和田 新氏 プロフィール



1955年神奈川県生まれ。2015年3月、38年間勤務したラジオ福島を定年退職。

東日本大震災発生時には、350時間14分にも及ぶCMカットでの放送に携わる。

現在、ラジオ福島にて『月曜Monday(もんだい)夜はこれから』他を担当。

主催（共催）：早稲田大学 教育学部複合文化学科／メディア・シティズンシップ研究所
協賛：グローバル・エデュケーションセンター 全学共通副専攻
お問い合わせ：後藤雄介（早稲田大学 教育学部 教員／chema@waseda.jp）